

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 安全衛生巡回指導事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 担い手企画係 電話番号：058-272-1111(内4390)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,158 千円 (前年度予算額： 1,158 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,158	1,158	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,158	1,158	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和 6 年の林業における労働災害の発生頻度は全産業平均の約10倍で最も高く、次いで木材・木製品製造業となっている。

本県の令和 6 年の林業における死傷災害発生件数は42件で、全国的に多い(9 番目)状況となっている。また、木材・木製品製造業においては32件で、同様に全国的に多い(8 番目)状況である。

(2) 事業内容

1) 安全巡回指導

林業労働安全衛生の専門的知識を有し、林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部が委嘱した「安全衛生指導員」が中心となり行う、林業・木材製造業の作業現場等の安全巡回指導に係る費用に対して助成することで、作業現場での安全作業の徹底を図る。

2) 安全衛生指導員養成研修会

作業現場等における安全巡回指導に必要な指導力向上を図るため、安全衛生巡回指導員を対象に研修会の開催費用を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 1 / 2 (国補助：森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策)
事業主体 1 / 2

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,158	林災防岐阜県支部への補助
合計	1,158	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者の確保・育成・定着を施策の柱に位置付けており、令和8年度に木材生産量10万m³当たりの死傷災害発生件数6件を目指す。

(2) 後年度の財政負担

後年度においても、国庫補助金を活用して実施していく。

(3) 事業主体及びその妥当性

＜事業主体＞ 林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部

＜妥 当 性＞ 労働災害防止団体法に基づき設立された林業・木材製造業における労働災害の防止活動を行う唯一の団体のため適当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

木材生産量10万m3当たりの死傷災害発生件数について、令和2年度の12件を令和8年度までに6件とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①林業労働災害 発生件数	11.2	9.8	7.0	6.0	6.0	61%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・巡回指導の実施により、作業現場での問題点を指摘することで、事故の未然防止と森林技術者の安全意識の向上を図った。 安全衛星巡回指導員数32人、点検日105日</p> <p>指標① 目標：6.0件 実績：11.1件 達成率：54 %</p>
令和5年度	<p>・巡回指導の実施により、作業現場での問題点を指摘することで、事故の未然防止と森林技術者の安全意識の向上を図った。 安全衛星巡回指導員数34人、点検日105日</p> <p>指標① 目標：6.0件 実績：10.6件 達成率：57 %</p>
令和6年度	<p>・巡回指導の実施により、作業現場での問題点を指摘することで、事故の未然防止と森林技術者の安全意識の向上を図った。 安全衛星巡回指導員数32人、点検日95日</p> <p>指標① 目標：6.0件 実績：9.8件 達成率：61 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	林業の現場における労働災害防止のために、安全衛生指導員が中心となって実施する安全巡回指導を行うことは必要不可欠であり、森林技術者の安全意識の向上に繋がるもの。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	長期的視点から、岐阜県における林業の死傷災害は減少傾向にあり、成果はあがっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	巡回指導を行う安全衛生指導員は、林業労働安全衛生の専門的知識を有し、林業・木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部が委嘱した指導員であり、適切な指導が可能である。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 現在、安全衛生指導員の経験年数に差があり、指導レベルを統一する必要がある。死傷災害件数は長期的視点では減少傾向にあるが、近年は下げ止まり傾向にある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 安全意識が薄れることがないよう継続実施の必要がある。また、森林技術者の定着や新規就業者の確保には、安全な職場環境は不可欠であるため、継続実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--